

# 1 幼稚園

園児数 3,807人で減少

3歳児入園者の割合は変化なし、幼稚園就園率は低下

表1 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
	園数	学級数	園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数C/B	対前年度増減数	園児数C/D	対前年度増減数	割合		
平成24	92	455	7,229	△2.5	647	1.4	15.9	0.0	11.2	△0.4	94.3		
25	89	429	6,891	△4.7	615	△4.9	16.1	0.2	11.2	0.0	94.5		
26	86	425	6,605	△4.2	601	△2.3	15.5	△0.6	11.0	△0.2	93.8		
27	74	342	5,228	△20.8	514	△14.5	15.3	△0.2	10.2	△0.8	94.6		
28	66	305	4,547	△13.0	475	△7.6	14.9	△0.4	9.6	△0.6	94.5		
<b>29</b>	<b>57</b>	<b>267</b>	<b>3,807</b>	<b>△16.3</b>	<b>423</b>	<b>△10.9</b>	<b>14.3</b>	<b>△0.6</b>	<b>9.0</b>	<b>△0.6</b>	<b>94.3</b>		
国立	1	5	100	1.0	7	0.0	20.0	0.2	14.3	0.2	100.0		
公立	23	84	999	△15.6	102	△18.4	11.9	△0.7	9.8	0.3	100.0		
私立	33	178	2,708	△17.1	314	△8.5	15.2	△0.6	8.6	△0.9	92.4		

## (1) 幼稚園数

幼稚園数 57 園で、前年度より 9 園減少（廃園 9 園）しており、このうち休園中の幼稚園は 2 園（私立 2 園）であった。

設置者別にみると、国立が 1 園、公立が 23 園、私立が 33 園となっている。

(表 1、統計表 2、4、5)

## (2) 学級数

学級数は 267 学級（国立 5 学級、公立 84 学級、私立 178 学級）で、前年度より 38 学級減少している。

収容人員別にみると、「1～15 人学級」が 116 学級で最も多く、次いで「16～20 人学級」が 58 学級、「21～25 人学級」が 45 学級などとなっている。

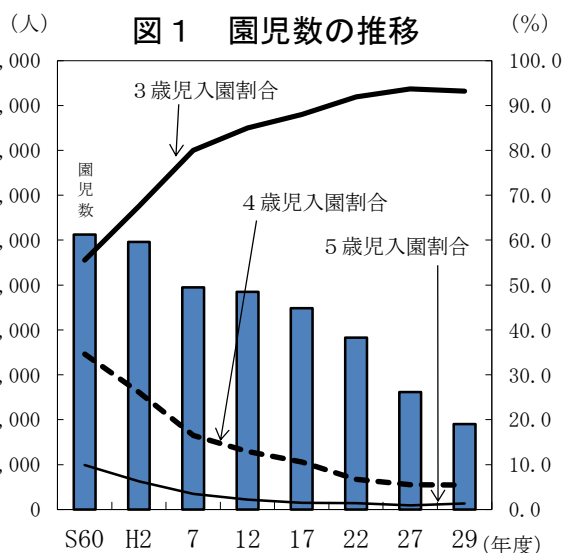
(表 1、統計表 7、8)

## (3) 園児数

園児数は 3,807 人で、前年度より 740 人（16.3%）減少している。

男女別にみると、男子が 1,913 人で、前年度より 413 人（17.8%）減少し、女子が 1,894 人で、前年度より 327 人（14.7%）減少している。

設置者別では、国立が 100 人、公立が 999 人、私立が 2,708 人で、私立が全体の 71.1% を占めている。



年齢別では、3歳児が1,184人で、前年度より245人(17.1%)減少し、4歳児が1,273人で、前年度より248人(16.3%)減少し、5歳児が1,350人で、前年度より247人(15.5%)減少している。園児数に占める3歳児の割合は31.1%(前年度31.4%)である。

また、3歳児入園者の割合は93.2%(前年度93.2%)である。

本務教員1人当たりの園児数は9.0人(前年度9.6人)で、全国の13.0人を下回っている。

(表1、2、図1、統計表3、15)

表2 年齢別園児数

(単位:人、%)

年度	計	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児入園者の割合	
			計	3歳から入園	4歳から入園	計	3歳から入園	4歳から入園		5歳から入園
平成24	7,229	2,283	2,391	2,197	194	2,555	2,238	248	69	92.9
25	6,891	2,168	2,338	2,128	210	2,385	2,080	216	89	92.5
26	6,605	2,085	2,197	2,007	190	2,323	2,029	199	95	92.7
27	5,228	1,657	1,740	1,614	126	1,831	1,629	153	49	93.7
28	4,547	1,429	1,521	1,414	107	1,597	1,395	144	58	93.2
<b>29</b>	<b>3,807</b>	<b>1,184</b>	<b>1,273</b>	<b>1,189</b>	<b>84</b>	<b>1,350</b>	<b>1,176</b>	<b>123</b>	<b>51</b>	<b>93.2</b>
男子	1,913	580	665	625	40	668	584	59	25	93.5
女子	1,894	604	608	564	44	682	592	64	26	92.9
国立	100	25	36	25	11	39	24	12	3	74.0
公立	999	292	334	295	39	373	299	50	24	88.7
私立	2,708	867	903	869	34	938	853	61	24	95.6

幼稚園就園率(小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率)は19.5%(前年度21.9%)で、前年度より2.4ポイント低下している。(表3、統計表10、34)

表3 幼稚園就園率

(単位:人、%)

年度	幼稚園修了者数	小学校第1学年児童数	幼稚園就園率
平成24	2,531	9,034	28.0
25	2,554	8,929	28.6
26	2,369	8,751	27.1
27	2,337	8,611	27.1
28	1,853	8,466	21.9
<b>29</b>	<b>1,588</b>	<b>8,133</b>	<b>19.5</b>

注) 幼稚園就園率=幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

#### (4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は423人(男子24人、女子399人)で、前年度より52人(10.9%)減少している。教員数に占める女子教員の割合は94.3%である。

職員数は77人で、前年度より16人減少している。

(表1、統計表9、12、14)

## 2 幼保連携型認定こども園

園児数 11,479 人で増加

表4 幼保連携型認定こども園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
	園数	学級数	園児数	対前年度増減率	園児数	対前年度増減率	園児数	対前年度増減率	園児数	対前年度増減数	園児数	対前年度増減数	
平成27	26	137	3,972	—	594	—	20.5	—	6.7	—	96.5		
28	58	292	8,435	112.4	1,307	120.0	19.4	△1.1	6.5	△0.2	95.8		
<b>29</b>	<b>80</b>	<b>390</b>	<b>11,479</b>	<b>36.1</b>	<b>1,864</b>	<b>42.6</b>	<b>19.8</b>	<b>0.4</b>	<b>6.2</b>	<b>△0.3</b>	<b>95.8</b>		
公立	4	18	476	247.4	66	187.0	18.3	2.1	7.2	1.2	100.0		
私立	76	372	11,003	32.6	1,798	40.0	19.9	0.4	6.1	△0.4	95.7		

### (1) 幼保連携型認定こども園数

幼保連携型認定こども園数は80園で、前年度より22園増加（新設22園）している。

設置者別にみると、公立が4園、私立が76園となっている。（表4、統計表17）

### (2) 学級数

学級数は390学級（公立18学級、私立372学級）で、前年度より98学級増加している。

収容人員別にみると、「21～25人学級」が97学級で最も多く、次いで「16～20人学級」が96学級、「26～30人学級」が72学級などとなっている。

（表4、統計表22、23）

### (3) 園児数

園児数は11,479人で、前年度より3,044人（36.1%）増加している。

男女別にみると、男子が5,913人で、前年度より1,538人（35.2%）増加し、女子が5,566人で、前年度より1,506人（37.1%）増加している。

設置者別では、公立が476人、私立が11,003人で、私立が全体の95.9%を占めている。

年齢別では、0歳児が350人で、前年度より94人（36.7%）増加し、1歳児が1,582人で、前年度より454人（40.2%）増加し、2歳児が1,830人で、前年度より446人（32.2%）増加し、3歳児が2,653人で、前年度より641人（31.9%）増加し、4歳児が2,538人で、前年度より712人（39.0%）増加し、5歳児が2,526人で、前年度より697人（38.1%）増加している。

本務教員（教育・保育職員）1人当たりの園児数は6.2人で、全国の6.7人を下回っている。

（表4、5、図2、統計表18）

図2 園児数の推移

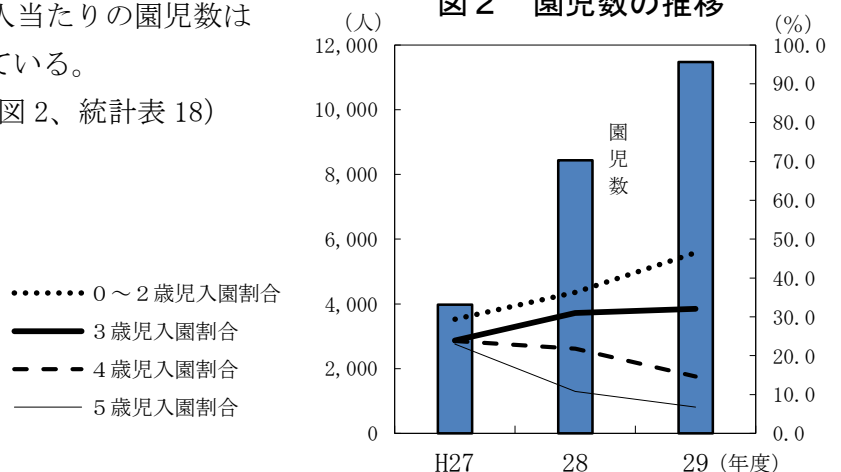


表5 年齢別園児数

(単位：人、%)

年 度	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成 27	3,972	91	512	564	950	943	912
28	8,435	256	1,128	1,384	2,012	1,826	1,829
<b>29</b>	<b>11,479</b>	<b>350</b>	<b>1,582</b>	<b>1,830</b>	<b>2,653</b>	<b>2,538</b>	<b>2,526</b>
男子	5,913	186	843	946	1,339	1,284	1,315
女子	5,566	164	739	884	1,314	1,254	1,211
公立	476	9	69	69	101	120	108
私立	11,003	341	1,513	1,761	2,552	2,418	2,418

幼保連携型認定こども園就園率（小学校第1学年児童数に対する幼保連携型認定こども園修了者の比率）は、23.3%である。（表6、統計表25、34）

表6 幼保連携型認定こども園就園率

(単位：人、%)

年度	幼保連携型認定こども園 修了者数	小学校第1 学年児童数	幼保連携型認定こども園 就園率
平成28	911	8,466	10.8
<b>29</b>	<b>1,895</b>	<b>8,133</b>	<b>23.3</b>

注) 幼保連携型認定こども園就園率＝幼保連携型認定こども園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

#### (4) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は、1,864人（男子78人、女子1,786人）で、前年度より557人（42.6%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は95.8%となっている。

職員数は363人で、前年度より110人増加している。

（表4、統計表24、27、29）

# 3 小 学 校

児童数 51,932 人で減少

表 7 小学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C 児童数	D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合	
				対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D		対前年度 増減数
平成24	199	2,384	57,959	△2.0	3,682	△0.9	24.3	0.0	15.7	△0.2	67.2
25	198	2,372	56,684	△2.2	3,685	0.1	23.9	△0.4	15.4	△0.3	66.9
26	196	2,334	55,277	△2.5	3,651	△0.9	23.7	△0.2	15.1	△0.3	66.3
27	196	2,321	54,195	△2.0	3,653	0.1	23.3	△0.4	14.8	△0.3	65.8
28	193	2,302	53,112	△2.0	3,614	△1.1	23.1	△0.2	14.7	△0.1	65.4
<b>29</b>	<b>193</b>	<b>2,281</b>	<b>51,932</b>	<b>△2.2</b>	<b>3,598</b>	<b>△0.4</b>	<b>22.8</b>	<b>△0.3</b>	<b>14.4</b>	<b>△0.3</b>	<b>65.2</b>
国立	1	12	420	△1.6	18	0.0	35.0	△0.6	23.3	△0.4	38.9
公立	192	2,269	51,512	△2.2	3,580	△0.4	22.7	△0.3	14.4	△0.3	65.4

## (1) 学校数

学校数は193校(本校192校、分校1校)で、前年度と同数であり、このうち休校中の学校は3校(公立3校)であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が192校となっている。

市町村別では、富山市67校、高岡市26校、射水市15校などとなっている。

学級数別では、7学級と8学級の学校がともに29校(構成比15.0%)で最も多く、次いで14学級の学校が20校(同10.4%)、13学級の学校が14校(同7.3%)などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11学級以下(小規模又は休校)」が104校(構成比53.9%)、「12~18学級(標準)」が62校(同32.1%)、「19学級以上(大規模)」が27校(同14.0%)となっている。(表7、統計表32、40)

## (2) 学級数

学級数は2,281学級で、前年度より21学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が1,882学級(構成比82.5%)、複式学級が30学級(同1.3%)、特別支援学級が369学級(同16.2%)となっている。(表7、統計表33)

## (3) 児童数

児童数は51,932人(男子26,788人、女子25,144人)で、前年度より1,180人(2.2%)減少している。これはピーク時(昭和33年度、159,700人)の32.5%である。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が50,536人、複式学級児童が311人、特別支援学級児童が1,085人となっている。

市町村別では、富山市21,098人、高岡市7,703人、射水市5,055人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市369人(1.7%)減少、高岡市231人(2.9%)減少、射水市140人(2.7%)減少などすべての市町村で減少している。

1学級当たりの児童数は22.8人（前年度23.1人）で、全国の23.6人を下回っている。  
 本務教員1人当たりの児童数は14.4人（前年度14.7人）で、全国の15.4人を下回っている。  
 （表7、8、統計表34、43）

表8 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成24	57,959	29,764	28,195	9,034	9,349	9,587	9,692	10,156	10,141
25	56,684	29,119	27,565	8,929	9,030	9,326	9,572	9,685	10,142
26	55,277	28,374	26,903	8,751	8,934	9,016	9,321	9,585	9,670
27	54,195	27,807	26,388	8,611	8,752	8,927	9,011	9,324	9,570
28	53,112	27,251	25,861	8,466	8,618	8,744	8,930	9,020	9,334
<b>29</b>	<b>51,932</b>	<b>26,788</b>	<b>25,144</b>	<b>8,133</b>	<b>8,485</b>	<b>8,624</b>	<b>8,751</b>	<b>8,920</b>	<b>9,019</b>

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は3,598人（男子1,251人、女子2,347人）で、前年度より16人（0.4%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は65.2%である。

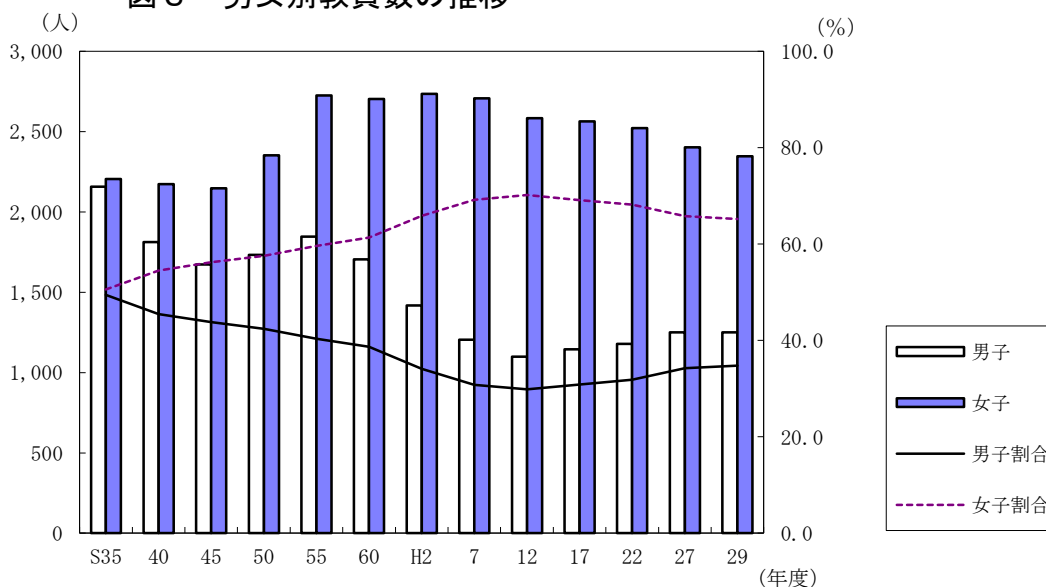
職員数は781人で、前年度より9人減少している。（表7、9、図3、統計表35、36、48）

表9 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成24	3,682	1,208	2,474
25	3,685	1,219	2,466
26	3,651	1,232	2,419
27	3,653	1,250	2,403
28	3,614	1,252	2,362
<b>29</b>	<b>3,598</b>	<b>1,251</b>	<b>2,347</b>

図3 男女別教員数の推移



# 4 中 学 校

生徒数 28,534 人で減少

表10 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0	47.2
25	82	1,030	30,372	0.0	2,172	0.9	29.5	△0.2	14.0	△0.1	46.9
26	83	1,039	30,419	0.2	2,183	0.5	29.3	△0.2	13.9	△0.1	46.6
27	83	1,024	29,867	△1.8	2,173	△0.5	29.2	△0.1	13.7	△0.2	46.2
28	83	998	29,312	△1.9	2,149	△1.1	29.4	0.2	13.6	△0.1	46.5
<b>29</b>	<b>82</b>	<b>983</b>	<b>28,534</b>	<b>△2.7</b>	<b>2,116</b>	<b>△1.5</b>	<b>29.0</b>	<b>△0.4</b>	<b>13.5</b>	<b>△0.1</b>	<b>47.0</b>
国立	1	12	476	△0.4	23	0.0	39.7	△0.1	20.7	△0.1	34.8
公立	80	962	27,735	△2.7	2,070	△1.5	28.8	△0.4	13.4	△0.2	47.2
私立	1	9	323	△2.7	23	△4.2	35.9	△1.0	14.0	△0.2	34.8

## (1) 学校数

学校数は82校(本校81校、分校1校)で、前年度より1校減少(廃校1校)となっている。

設置者別にみると、国立が1校、公立が80校、私立が1校となっている。

市町村別では、富山市29校、高岡市12校、南砺市8校などとなっている。

学級数別では、8学級と11学級の学校がともに12校(構成比14.6%)で最も多く、次いで13学級の学校が6校(同7.3%)、4学級と10学級の学校がともに5校(同6.1%)などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11学級以下(小規模)」が47校(構成比57.3%)、「12~18学級(標準)」が21校(同25.6%)、「19学級以上(大規模)」が14校(同17.1%)となっている。

(表10、統計表50、52)

## (2) 学級数

学級数は983学級で、前年度より15学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が837学級(構成比85.1%)、複式学級が1学級(同0.1%)、特別支援学級が145学級(同14.8%)となっている。

(表10、統計表51)

## (3) 生徒数

生徒数は28,534人(男子14,603人、女子13,931人)で、前年度より778人(2.7%)減少している。これはピーク時(昭和37年度、88,658人)の32.2%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が28,125人、複式学級生徒が4人、特別支援学級生徒が405人となっている。

市町村別では、富山市11,541人、高岡市4,258人、射水市2,691人の順に多い。対前年度増減数をみると、舟橋村2人(1.6%)増加と1村で増加し、富山市253人(2.1%)減少、射水市91人(3.3%)減少、高岡市76人(1.8%)減少など14市町で減少している。

1学級当たりの生徒数は29.0人(前年度29.4人)で、全国の27.8人を上回っている。

本務教員1人当たりの生徒数は13.5人（前年度13.6人）で、全国の13.3人を上回っている。

（表10、11、統計表54、64）

表11 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年
平成24	30,364	15,507	14,857	10,197	10,074	10,093
25	30,372	15,529	14,843	10,122	10,187	10,063
26	30,419	15,523	14,896	10,117	10,113	10,189
27	29,867	15,346	14,521	9,654	10,110	10,103
28	29,312	15,010	14,302	9,542	9,654	10,116
<b>29</b>	<b>28,534</b>	<b>14,603</b>	<b>13,931</b>	<b>9,314</b>	<b>9,561</b>	<b>9,659</b>

（4）教員数及び職員数

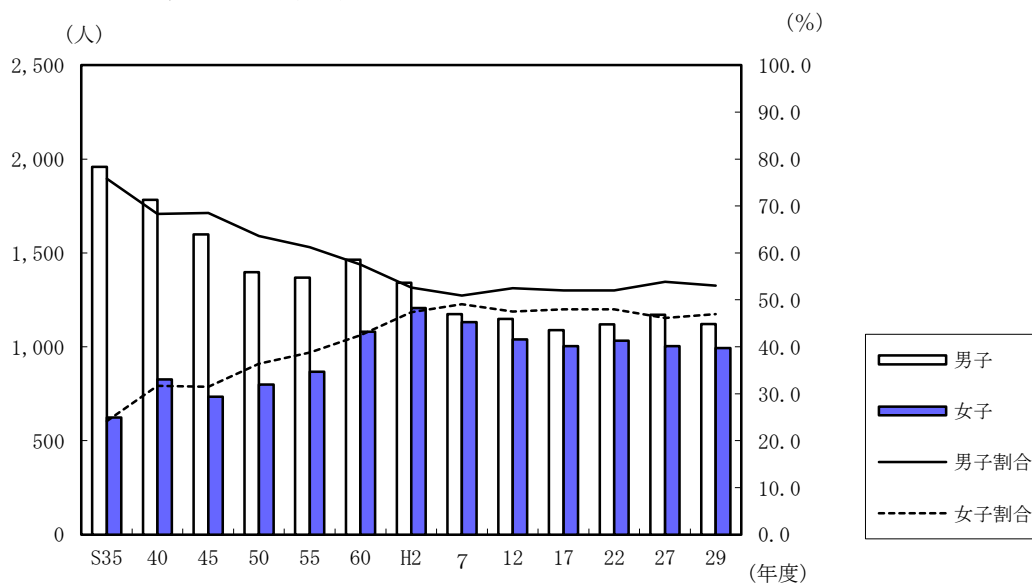
教員数（本務者）は2,116人（男子1,122人、女子994人）で、前年度より33人（1.5%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は47.0%である。

職員数は295人で、前年度より6人減少している。（表10、12、図4、統計表58、62、65）

表12 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成24	2,152	1,137	1,015
25	2,172	1,154	1,018
26	2,183	1,166	1,017
27	2,173	1,170	1,003
28	2,149	1,150	999
<b>29</b>	<b>2,116</b>	<b>1,122</b>	<b>994</b>

図4 男女別教員数の推移





# 5 高等学校

## 【全日制課程・定時制課程】

生徒数 28,708 人で増加

表13 高等学校（全日制課程・定時制課程）の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
		生徒数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	生徒数B/C	対前年度増減数	
平成24	53	29,279	1.8	2,344	△0.4	12.5	0.3	36.6
25	53	28,864	△1.4	2,308	△1.5	12.5	0.0	37.1
26	53	28,857	△0.0	2,316	0.3	12.5	0.0	37.6
27	53	28,671	△0.6	2,309	△0.3	12.4	△0.1	38.2
28	53	28,624	△0.2	2,313	0.2	12.4	0.0	37.5
<b>29</b>	<b>53</b>	<b>28,708</b>	<b>0.3</b>	<b>2,306</b>	<b>△0.3</b>	<b>12.4</b>	<b>0.0</b>	<b>37.6</b>
公立	43	22,607	△0.2	1,908	△0.3	11.8	0.0	39.3
私立	10	6,101	2.2	398	△0.5	15.3	0.4	29.6

### (1) 学校数

学校数は53校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、公立が43校（全日制37校、定時制5校、併置1校）、私立が10校（全日制10校）となっている。

学科別では、1学科のみの単独校が34校（普通科22校、農業科2校、工業科5校、商業科2校、その他1校、総合学科2校）、総合校が19校（「普通科と専門学科1」の学校が11校、「普通科と専門学科2以上」の学校が7校、「専門学科1と総合学科」の学校が1校）となっている。普通科を設置している学校は40校（構成比75.5%）である。

男女別学校数では、男子校及び女子校は無く、男女共学校が53校となっている。

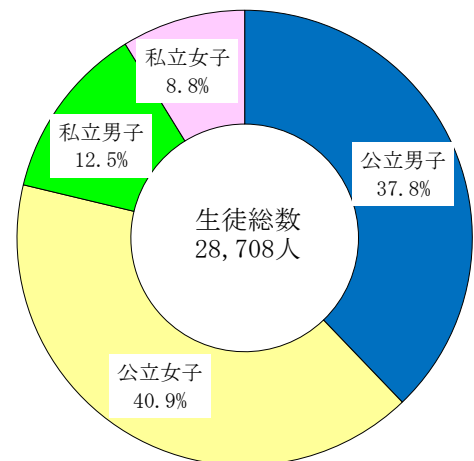
(表13、統計表68、69、70)

### (2) 生徒数

生徒数は28,708人（男子14,438人、女子14,270人）で、前年度より84人（0.3%）増加している。これはピーク時（昭和40年度、65,436人）の43.9%である。

設置者別にみると、公立が22,607人（男子10,860人、女子11,747人）で、前年度より46人（0.2%）減少し、私立が6,101人（男子3,578人、女子2,523人）で、前年度より130人（2.2%）増加している。この結果、公立が78.7%、私立が21.3%の割合であった。

図5 設置者・男女別生徒数の構成



課程別では、全日制本科が27,414人（男子13,852人、女子13,562人）で、前年度より147人（0.5%）増加し、定時制本科が1,032人（男子480人、女子552人）で、前年度より57人（5.2%）減少し、全日制専攻科が97人（男子21人、女子76人）で、前年度より4人（4.3%）増加し、定時制専攻科が165人（男子85人、女子80人）で、前年度より10人（5.7%）減少している。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が18,647人（構成比65.6%）で最も多く、次いで工業科が3,469人（同12.2%）、商業科が2,218人（同7.8%）などとなっている。

本務教員1人当たりの生徒数は12.4人（前年度12.4人）で、全国の14.0人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は9,595人（全日制9,314人、定時制281人）で、前年度より52人（0.5%）増加し、このうち他県所在の中学校卒業者が60人（全日制57人、定時制3人）、過年度中学校卒業者が18人（全日制6人、定時制12人）であった。

（表13、14、15、16、図5、統計表82、83、84、85）

表14 学年別生徒数（本科+専攻科）

（単位：人）

年度	計	男子	女子	本 科					専攻科
				計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成25	28,864	14,578	14,286	28,587	9,645	9,646	9,203	93	277
26	28,857	14,524	14,333	28,574	9,576	9,438	9,476	84	283
27	28,671	14,394	14,277	28,416	9,662	9,387	9,264	103	255
28	28,624	14,391	14,233	28,356	9,576	9,487	9,192	101	268
<b>29</b>	<b>28,708</b>	<b>14,438</b>	<b>14,270</b>	<b>28,446</b>	<b>9,642</b>	<b>9,396</b>	<b>9,324</b>	<b>84</b>	<b>262</b>

表15 学科別生徒数（本科のみ）

（単位：人）

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成25	28,587	18,540	577	3,532	2,297	175	653	118	119	1,159	1,417
26	28,574	18,574	575	3,488	2,301	173	658	116	109	1,161	1,419
27	28,416	18,521	567	3,425	2,247	178	666	117	99	1,168	1,428
28	28,356	18,541	553	3,403	2,241	180	648	118	90	1,157	1,425
<b>29</b>	<b>28,446</b>	<b>18,647</b>	<b>538</b>	<b>3,469</b>	<b>2,218</b>	<b>179</b>	<b>595</b>	<b>119</b>	<b>90</b>	<b>1,160</b>	<b>1,431</b>
男子	14,332	9,030	310	2,978	867	122	56	6	5	568	390
女子	14,114	9,617	228	491	1,351	57	539	113	85	592	1,041

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

表16 学科別生徒数構成比（本科のみ）

（単位：%）

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成25	100.0	64.9	2.0	12.4	8.0	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
26	100.0	65.0	2.0	12.2	8.1	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
27	100.0	65.2	2.0	12.1	8.0	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
28	100.0	65.4	2.0	12.0	7.9	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
<b>29</b>	<b>100.0</b>	<b>65.6</b>	<b>1.9</b>	<b>12.2</b>	<b>7.8</b>	<b>0.6</b>	<b>2.1</b>	<b>0.4</b>	<b>0.3</b>	<b>4.1</b>	<b>5.0</b>
男子	100.0	63.0	2.2	20.8	6.0	0.9	0.4	0.0	0.0	4.0	2.7
女子	100.0	68.1	1.6	3.5	9.6	0.4	3.8	0.8	0.6	4.2	7.4

注) 理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

### (3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,306人（男子1,439人、女子867人）で、前年度より7人（0.3%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は37.6%である。

設置者別にみると、公立が1,908人（男子1,159人、女子749人）、私立が398人（男子280人、女子118人）となっている。

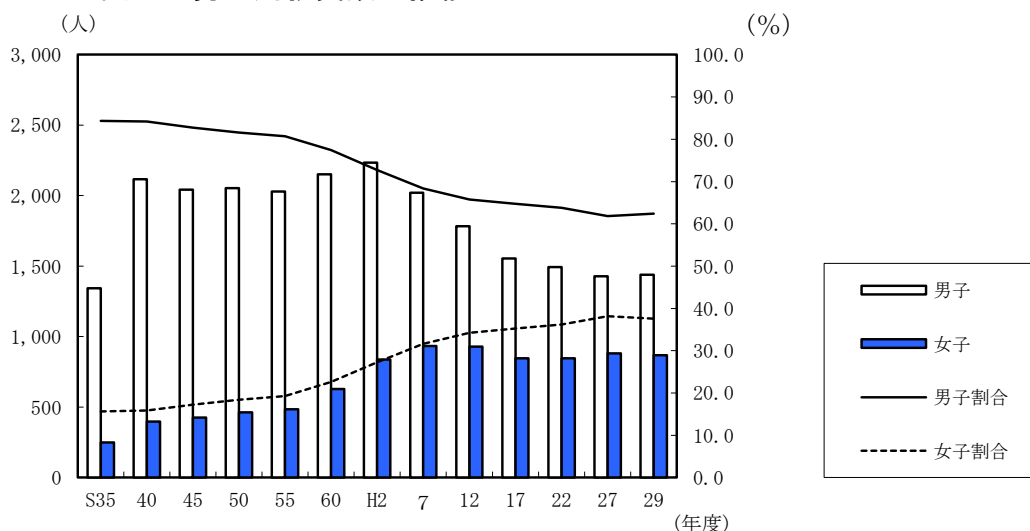
職員数は490人で、前年度より51人増加している。

（表13、17、図6、統計表75、76、77）

表17 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成24	2,344	1,485	859
25	2,308	1,451	857
26	2,316	1,445	871
27	2,309	1,428	881
28	2,313	1,446	867
<b>29</b>	<b>2,306</b>	<b>1,439</b>	<b>867</b>

図6 男女別教員数の推移



## 【通信制課程】

### (1) 学校数

学校数は2校（併置校2校）で、前年度と同数である。

### (2) 生徒数

生徒数は919人（男子424人、女子495人）で、前年度より3人（0.3%）減少している。

20歳以上について年齢別にみると、「30～39歳」が208人（構成比22.6%）で最も多く、次いで「20～24歳」が181人（同19.7%）、「25～29歳」が126人（同13.7%）などとなっている。

### (3) 教員数

教員数（本務者）は18人で、前年度と同数である。

（統計表90、91、94）

## 6 特別支援学校

在学者数 1,302 人で減少

表18 特別支援学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり	
	学校数	学級数	在学者数	対前年度 増減率	在学者数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	在学者数 C/B	対前年度 増減数	在学者数 C/D	対前年度 増減数
平成24	13	347	1,227	1.0	908	1.8	3.5	0.0	1.4	0.0		
25	15	345	1,243	1.3	907	△0.1	3.6	0.1	1.4	0.0		
26	15	354	1,276	2.7	905	△0.2	3.6	0.0	1.4	0.0		
27	15	359	1,295	1.5	907	0.2	3.6	0.0	1.4	0.0		
28	15	353	1,306	0.8	919	1.3	3.7	0.1	1.4	0.0		
<b>29</b>	<b>15</b>	<b>349</b>	<b>1,302</b>	<b>△0.3</b>	<b>922</b>	<b>0.3</b>	<b>3.7</b>	<b>0.0</b>	<b>1.4</b>	<b>0.0</b>		
国立	1	9	59	0.0	29	0.0	6.6	0.0	2.0	0.0		
公立	14	340	1,243	△0.3	893	0.3	3.7	0.1	1.4	0.0		

### (1) 学校数

学校数は15校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が1校、公立が14校となっている。

### (2) 学級数

学級数は349学級で、その内訳は、幼稚部が6学級、小学部が135学級、中学部が83学級、高等部が125学級となっている。

### (3) 在学者数

在学者数は1,302人（男子896人、女子406人）で、前年度より4人（0.3%）減少している。

### (4) 教員数

教員数（本務者）は922人（男子296人、女子626人）で、前年度より3人（0.3%）増加している。

(表18、統計表95、96、97、100)

## 7 専修学校・各種学校

学校数は専修学校、各種学校ともに減少

生徒数は専修学校 3,300 人、各種学校 3,226 人でともに増加

### 【専修学校】

表19 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		計	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成24	32	3,338	927	2,411	285	1,116	171	3,132	35
25	32	3,442	935	2,507	294	1,094	182	3,221	39
26	30	3,494	975	2,519	290	1,128	152	3,322	20
27	29	3,425	953	2,472	285	1,138	155	3,247	23
28	28	3,253	967	2,286	270	1,153	156	3,093	4
<b>29</b>	<b>27</b>	<b>3,300</b>	<b>958</b>	<b>2,342</b>	<b>290</b>	<b>1,092</b>	<b>169</b>	<b>3,114</b>	<b>17</b>
公立	4	556	58	498	52	332	-	556	-
私立	23	2,744	900	1,844	238	760	169	2,558	17

#### (1) 学校数

学校数は 27 校で、前年度より 1 校減少（新設 3 校、廃校 4 校）している。また、休校中の学校は 2 校（私立 2 校）であった。

設置者別にみると、公立が 4 校、私立が 23 校となっている。（表 19、統計表 102、103）

#### (2) 生徒数

生徒数は 3,300 人で、前年度より 47 人（1.4%）増加している。

男女別にみると、男子が 958 人で、前年度より 9 人（0.9%）減少し、女子が 2,342 人で、前年度より 56 人（2.4%）増加している。

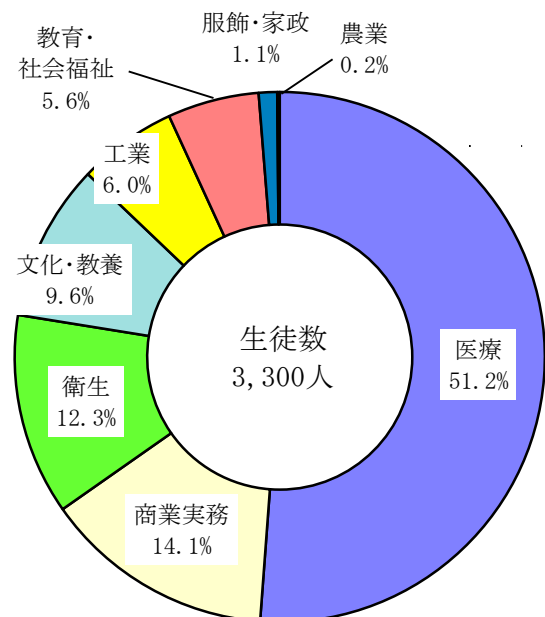
課程別では、高等課程が 169 人（構成比 5.1%）、専門課程が 3,114 人（同 94.4%）、一般課程が 17 人（同 0.5%）となっている。

分野別では、医療関係 1,689 人、商業実務関係 465 人、衛生関係 405 人の順に多い。

学科別では、看護 1,115 人、美容 265 人、理学・作業療法 238 人の順に多い。

（表 19、図 7、統計表 102、106、107）

図 7 専修学校の学科分野別生徒数の構成



### (3) 教員数

教員のうち本務者は290人（男子99人、女子191人）で、前年度より20人（7.4%）増加し、兼務者は1,092人（男子607人、女子485人）で、前年度より61人（5.3%）減少している。

教員数（本務者）を課程別にみると、高等課程が10人、専門課程が276人、一般課程が4人となっている。設置者別では、公立が52人、私立が238人となっている。

（表19、統計表102、109）

## 【各種学校】

表20 各種学校の推移

（単位：校、人）

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数（再掲）	
		計	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成24	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653
25	25	2,458	1,356	1,102	272	108	1,874	584
26	25	3,012	1,748	1,264	280	101	2,493	519
27	25	2,320	1,313	1,007	274	90	1,893	427
28	24	2,980	1,659	1,321	257	105	2,570	410
<b>29</b>	<b>23</b>	<b>3,226</b>	<b>1,832</b>	<b>1,394</b>	<b>262</b>	<b>101</b>	<b>2,834</b>	<b>392</b>
私立	23	3,226	1,832	1,394	262	101	2,834	392

### (1) 学校数

学校数は23校で、前年度より1校減少（廃校1校）している。

（表20、統計表110）

### (2) 生徒数

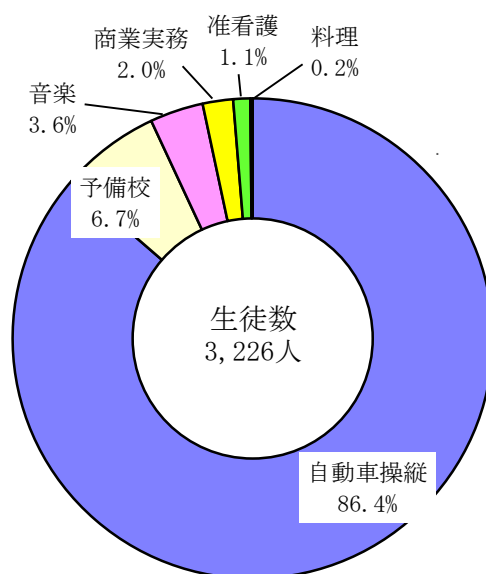
生徒数は3,226人で、前年度より246人（8.3%）増加している。

男女別にみると、男子が1,832人で、前年度より173人（10.4%）増加し、女子が1,394人で、前年度より73人（5.5%）増加している。

課程別では、自動車操縦2,786人、予備校216人、音楽116人の順に多い。

（表20、図8、統計表110、112）

図8 各種学校の課程別生徒数の構成



### (3) 教員数

教員数のうち本務者は262人（男子229人、女子33人）で、前年度より5人（1.9%）増加し、兼務者は101人（男子62人、女子39人）で、前年度より4人（3.8%）減少している。

（表20、統計表110、115）

## 8 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 99.3% で全国第 5 位

表21 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成24	10,308	10,194	3	3	28	79	1	2	98.9	0.3
25	10,098	9,982	1	1	26	87	1	2	98.9	0.3
26	10,063	9,968	2	2	29	60	2	3	99.1	0.3
27	10,189	10,101	1	3	19	65	—	1	99.1	0.2
28	10,095	9,995	2	3	24	71	—	3	99.0	0.3
<b>29</b>	<b>10,111</b>	<b>10,038</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>15</b>	<b>54</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>99.3</b>	<b>0.2</b>
男子	5,136	5,099	1	—	10	25	1	2	99.3	0.2
女子	4,975	4,939	—	2	5	29	—	—	99.3	0.1
国立	158	157	—	—	—	1	—	—	99.4	—
公立	9,838	9,766	1	2	15	53	1	2	99.3	0.2
私立	115	115	—	—	—	—	—	—	100.0	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

### (1) 卒業生数

平成 29 年 3 月の中学校卒業生数は 10,111 人で、前年度より 16 人 (0.2%) 増加している。

男女別にみると、男子が 5,136 人で、前年度より 86 人 (1.6%) 減少し、女子が 4,975 人で、前年度より 102 人 (2.1%) 増加している。

進路別では、高等学校等進学者が 10,038 人 (構成比 99.3%)、専修学校高等課程進学者・専修学校一般課程等入学者が 3 人 (同 0.0%)、就職者が 15 人 (同 0.1%) などとなっている。

(表 21、統計表 119、120)

### (2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 10,038 人 (男子 5,099 人、女子 4,939 人) で、前年度より 43 人 (0.4%) 増加している。その内訳は、高等学校全日制課程 9,372 人 (構成比 93.4%)、定時制課程 266 人 (同 2.6%)、高等専門学校 263 人 (同 2.6%)、特別支援学校高等部 93 人 (同 0.9%)、高等学校通信制課程 44 人 (同 0.4%) である。

他県への進学者数は 186 人で、前年度より 38 人 (25.7%) 増加し、進学者全体の 1.9% であった。

(表 21、22、統計表 119、120)

### (3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 99.3% (前年度 99.0%) で、全国第 5 位 (前年度第 13 位) であった。

男女別にみると、男女ともに 99.3% (前年度男子 98.7%、女子 99.3%) となっている。

(表 21、23、図 9、統計表 119、120)

表22 高等学校等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年3月	高等学校等 進学者総数	高 等 学 校			高等専門 学 校	特別支援 学校高等部
		全日制	定時制	通信制		
平成24	10,194	9,497	331	44	267	55
25	9,982	9,319	320	43	231	69
26	9,968	9,278	303	38	269	80
27	10,101	9,363	319	60	282	77
28	9,995	9,263	313	57	282	80
<b>29</b>	<b>10,038</b>	<b>9,372</b>	<b>266</b>	<b>44</b>	<b>263</b>	<b>93</b>
男子	5,099	4,723	114	22	172	68
女子	4,939	4,649	152	22	91	25

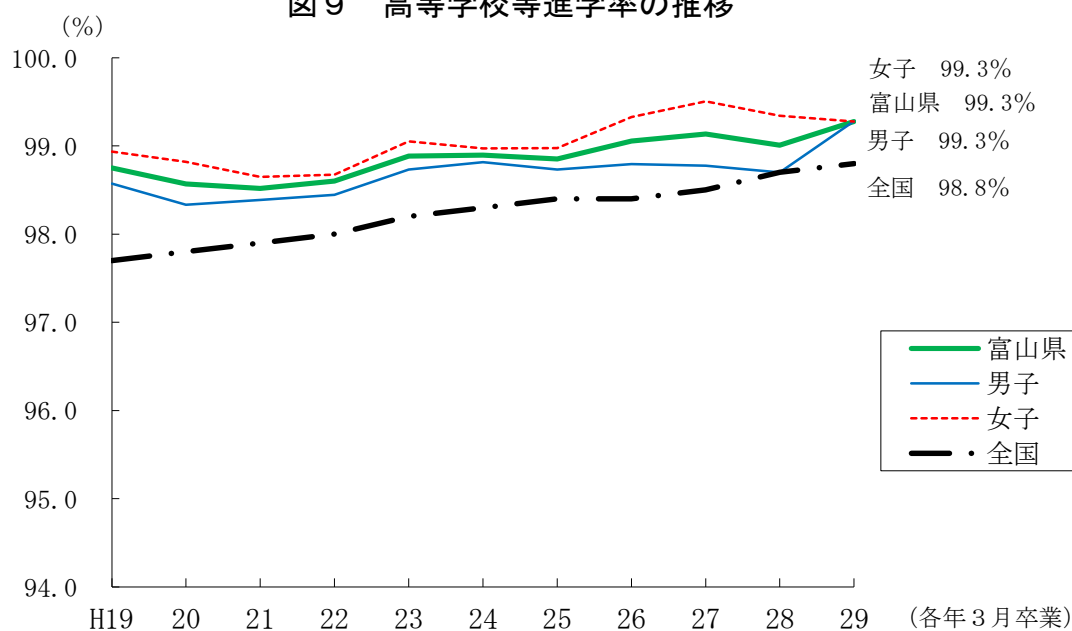
表23 高等学校等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男 子	女 子	全 国
平成19	98.8	98.6	98.9	97.7
20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2
24	98.9	98.8	99.0	98.3
25	98.9	98.7	99.0	98.4
26	99.1	98.8	99.3	98.4
27	99.1	98.8	99.5	98.5
28	99.0	98.7	99.3	98.7
<b>29</b>	<b>99.3</b>	<b>99.3</b>	<b>99.3</b>	<b>98.8</b>

注) 高等学校等進学率は、通信制を含む。  
高等学校等進学率の最高は、平成29年の99.3%。

図9 高等学校等進学率の推移





#### (4) 就職状況

就職者総数（表 21 の「E 就職者」と「H BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は 17 人（男子 12 人、女子 5 人）で、前年度より 10 人（37.0%）減少している。その内訳は、就職者 15 人、就職進学者 2 人である。

就職率は 0.2%（男子 0.2%、女子 0.1%）であった。

就職者総数を産業別にみると、第 1 次産業が 1 人、第 2 次産業が 6 人、第 3 次産業が 10 人となっている。

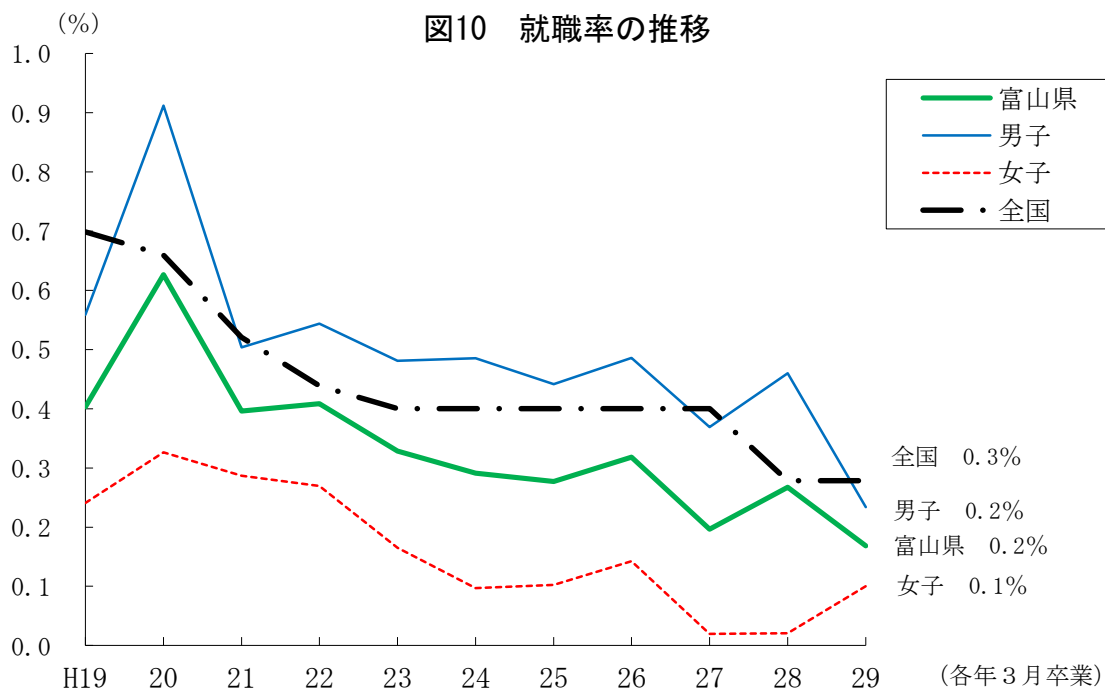
県内就職者数は 14 人（構成比 82.4%）で、前年度より 10 人（41.7%）減少している。

（表 21、24、図 10、統計表 119、120、122）

表24 就職者数及び県内就職率の推移

（単位：人、%）

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0
25	28	25	89.3
26	32	27	84.4
27	20	19	95.0
28	27	24	88.9
<b>29</b>	<b>17</b>	<b>14</b>	<b>82.4</b>



## 9 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 52.2% で全国第 20 位

県内就職率 91.8% で全国第 6 位

表 25 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者の状況別推移

（単位：人、％）

各年 3月	A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K
	卒業生数	大学等 進学者	専修学校 専門課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	就職者	うち正規 の職員等 でない者	一時的な 仕事に就 いた者	左記以外 の者	不詳 死亡	BCDのう ち就職し ている者 (再掲)	大学等 進学率 B/A	就職率 (E+I)/A
平成24	8,791	4,683	1,486	682	1,791		46	100	3	11	53.3	20.5
25	9,556	5,003	1,724	664	1,957		66	142	—	12	52.4	20.6
26	9,106	4,712	1,627	593	2,007		37	130	—	12	51.7	22.2
27	9,365	4,870	1,668	620	2,063	2	37	107	—	18	52.0	22.2
28	9,161	4,762	1,512	644	2,083	7	33	127	—	9	52.0	22.8
<b>29</b>	<b>9,115</b>	<b>4,760</b>	<b>1,550</b>	<b>640</b>	<b>2,027</b>	<b>3</b>	<b>44</b>	<b>94</b>	<b>—</b>	<b>7</b>	<b>52.2</b>	<b>22.3</b>
男子	4,574	2,212	512	470	1,318	1	19	43	—	3	48.4	28.9
女子	4,541	2,548	1,038	170	709	2	25	51	—	4	56.1	15.7
公立	7,240	4,078	1,126	547	1,411	2	5	73	—	7	56.3	19.6
私立	1,875	682	424	93	616	1	39	21	—	—	36.4	32.9

注) 1 「A 卒業生数」は、全日制課程本科・定時制課程本科の卒業生数。

2 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

3 「F 一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

### (1) 卒業生数

平成 29 年 3 月の高等学校卒業生数は 9,115 人で、前年度より 46 人 (0.5%) 減少している。

男女別にみると、男子が 4,574 人で、前年度より 84 人 (1.8%) 減少し、女子が 4,541 人で、前年度より 38 人 (0.8%) 増加している。

設置者別では、公立が 7,240 人、私立が 1,875 人となっている。

課程別では、全日制課程が 8,830 人、定時制課程が 285 人となっている。

進路別では、大学等進学者が 4,760 人 (構成比 52.2%)、専修学校専門課程進学者が 1,550 人 (同 17.0%)、専修学校一般課程等入学者が 640 人 (同 7.0%)、就職者が 2,027 人 (同 22.2%)、一時的な仕事に就いた者が 44 人 (同 0.5%) などとなっている。

(表 25、統計表 124、125、126、127)

### (2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 4,760 人 (男子 2,212 人、女子 2,548 人) で、前年度より 2 人 (0.0%) 減少している。その内訳は、大学学部 4,047 人 (男子 2,113 人、女子 1,934 人) (構成比 85.0%)、短期大学本科 645 人 (男子 85 人、女子 560 人) (同 13.6%)、高等学校専攻科 65 人 (同 1.4%)、大学・短期大学の別科 1 人 (同 0.0%)、大学・短期大学の通信教育部 2 人 (同 0.0%) である。

卒業学科別にみると、普通科が 3,689 人 (構成比 77.5%)、農業科が 31 人 (同 0.7%)、工業科が 182 人 (同 3.8%)、商業科が 277 人 (同 5.8%)、水産科が 13 人 (同 0.3%)、家庭

科が51人（同1.1%）、看護科が38人（同0.8%）、福祉科が10人（同0.2%）、理数関係又は外国語関係など（統計表では「その他」に計上）が221人（同4.6%）、総合学科が248人（同5.2%）となっている。（表25、26、統計表124、125）

表26 大学等進学者の進学先別内訳

（単位：人）

各年 3月	大学（学部）			短大（本科）			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3
25	4,160	2,256	1,904	780	114	666	—	61	1	1
26	3,984	2,160	1,824	659	96	563	—	68	1	—
27	4,086	2,155	1,931	710	96	614	1	73	—	—
28	4,017	2,147	1,870	655	90	565	—	89	—	1
<b>29</b>	<b>4,047</b>	<b>2,113</b>	<b>1,934</b>	<b>645</b>	<b>85</b>	<b>560</b>	<b>1</b>	<b>65</b>	<b>—</b>	<b>2</b>

### （3）大学等進学率

大学等進学率は52.2%で、前年度より0.2ポイント上昇し、全国第20位（前年度第21位）であった。このうち大学学部への進学率は44.4%で、前年度より0.6ポイント上昇し、短期大学本科への進学率は7.1%で、前年度と同率であった。

男女別にみると、男子が48.4%（前年度48.7%）、女子が56.1%（前年度55.4%）で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が46.2%（前年度46.1%）、女子が42.6%（前年度41.5%）と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率（42.6%）が短期大学本科への進学率（12.3%）を上回っている。

卒業学科別では、普通科が62.5%（前年度63.3%）、農業科が17.9%（前年度17.9%）、工業科が16.5%（前年度15.1%）、商業科が37.3%（前年度34.7%）、水産科が21.7%（前年度15.5%）、家庭科が23.0%（前年度27.4%）、看護科が100.0%（前年度97.3%）、福祉科が33.3%（前年度26.3%）、理数関係又は外国語関係など（統計表では「その他」に計上）が58.3%（前年度56.7%）、総合学科が53.2%（前年度48.6%）となっている。

（表25、27、図11、12、13、統計表124、125）

表27 大学等進学率の推移

（単位：%）

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5
25	52.4	49.6	55.1	53.2
26	51.7	49.1	54.4	53.8
27	52.0	48.6	55.4	54.5
28	52.0	48.7	55.4	54.7
<b>29</b>	<b>52.2</b>	<b>48.4</b>	<b>56.1</b>	<b>54.7</b>

注) 大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。  
男女別では、男子は平成22年の52.5%、女子は平成21年の58.0%であった。

図11 大学等進学率の推移（全国比較）

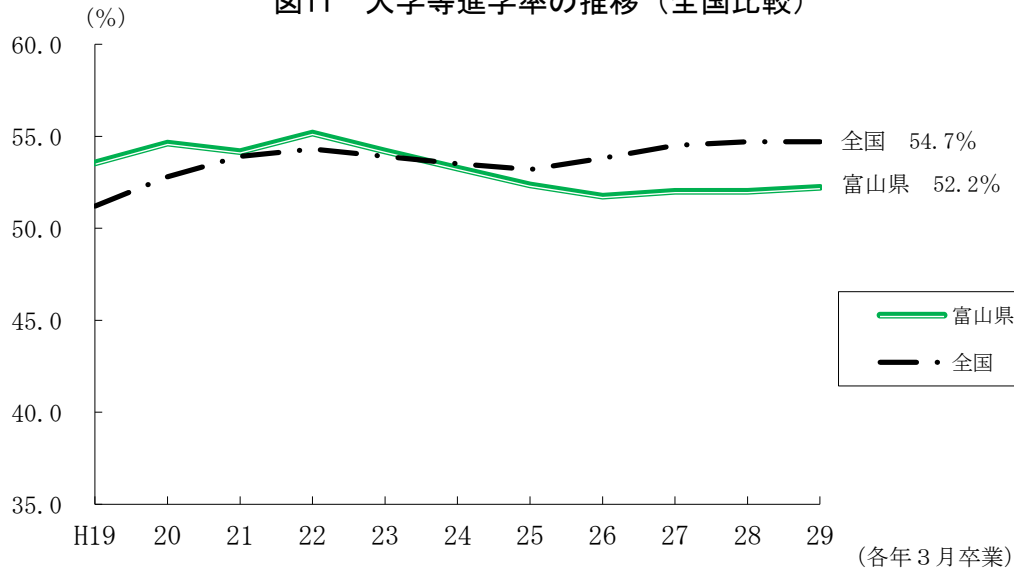


図12 大学等進学率の推移（男女別全国比較）

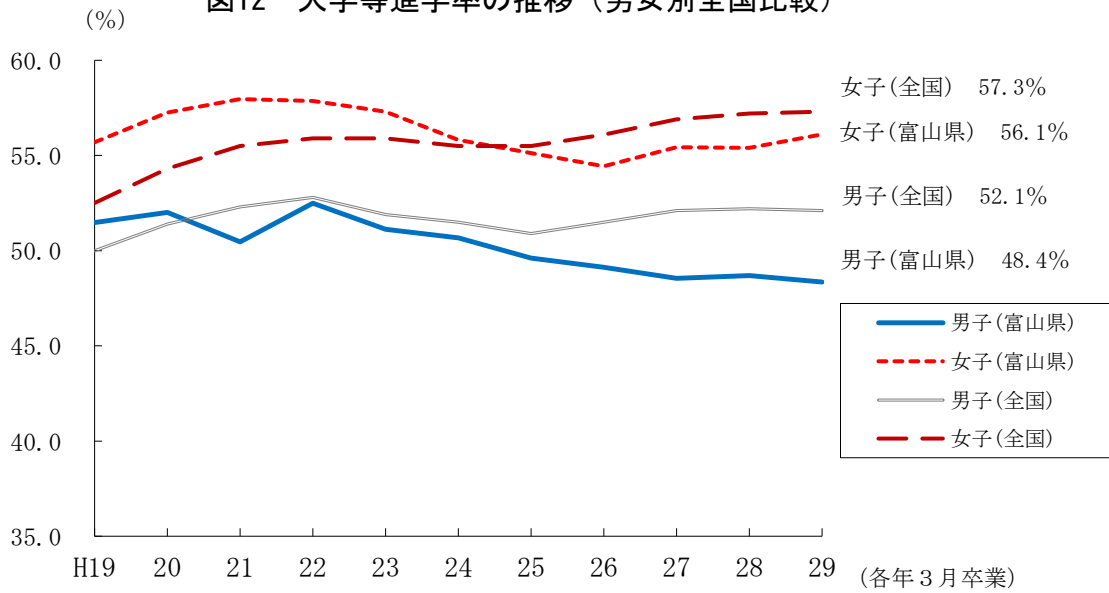
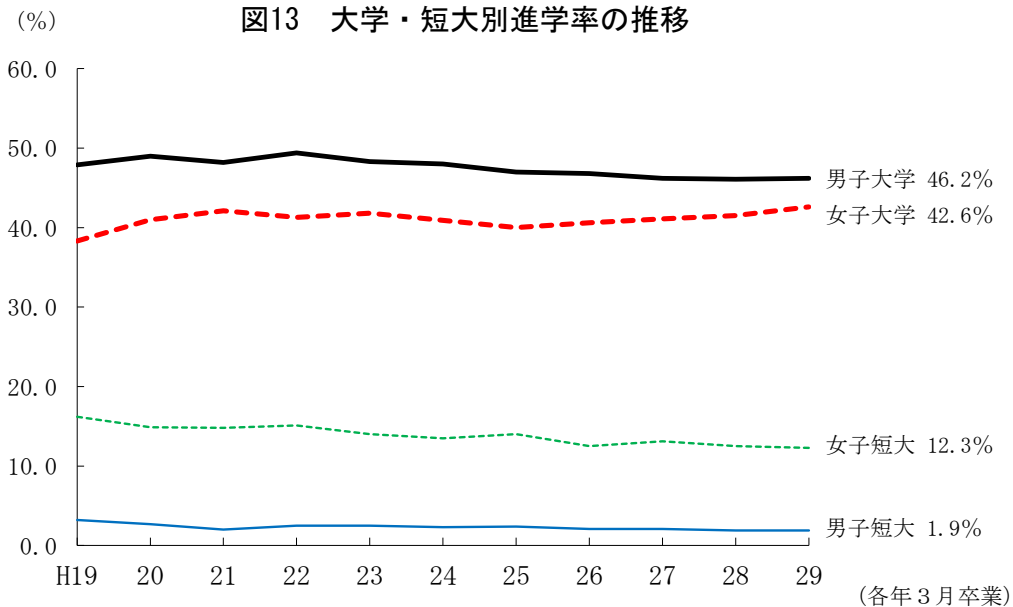


図13 大学・短大別進学率の推移



#### (4) 就職状況

就職者総数（表25の「E就職者」と「I BCDのうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は2,034人（男子1,321人、女子713人）で、前年度より58人（2.8%）減少している。その内訳は、就職者2,027人、就職進学者7人であった。

就職率は22.3%で、前年度より0.5ポイント低下しており、全国の17.8%を上回っている。男女別にみると、男子が28.9%（前年度29.5%）、女子が15.7%（前年度16.0%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が1,140人（構成比56.0%）で最も多く、次いで「建設業」が186人（同9.1%）、「卸売業・小売業」が156人（同7.7%）などとなっている。

職業別では、「生産工程従事者」が1,097人（構成比53.9%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が220人（同10.8%）、「事務従事者」が136人（同6.7%）、「専門的・技術的職業従事者」が121人（同5.9%）などとなっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が1,868人で、県外就職者数の166人を大きく上回っており、県内就職率は91.8%と、前年度より3.3ポイント低下し、全国第6位（前年度第2位）であった。

県外就職者の都道府県別では、石川県40人、東京都30人、愛知県23人、大阪府20人などとなっている。

（表25、28、図14、15、16、統計表124、125、129、130、131、132）

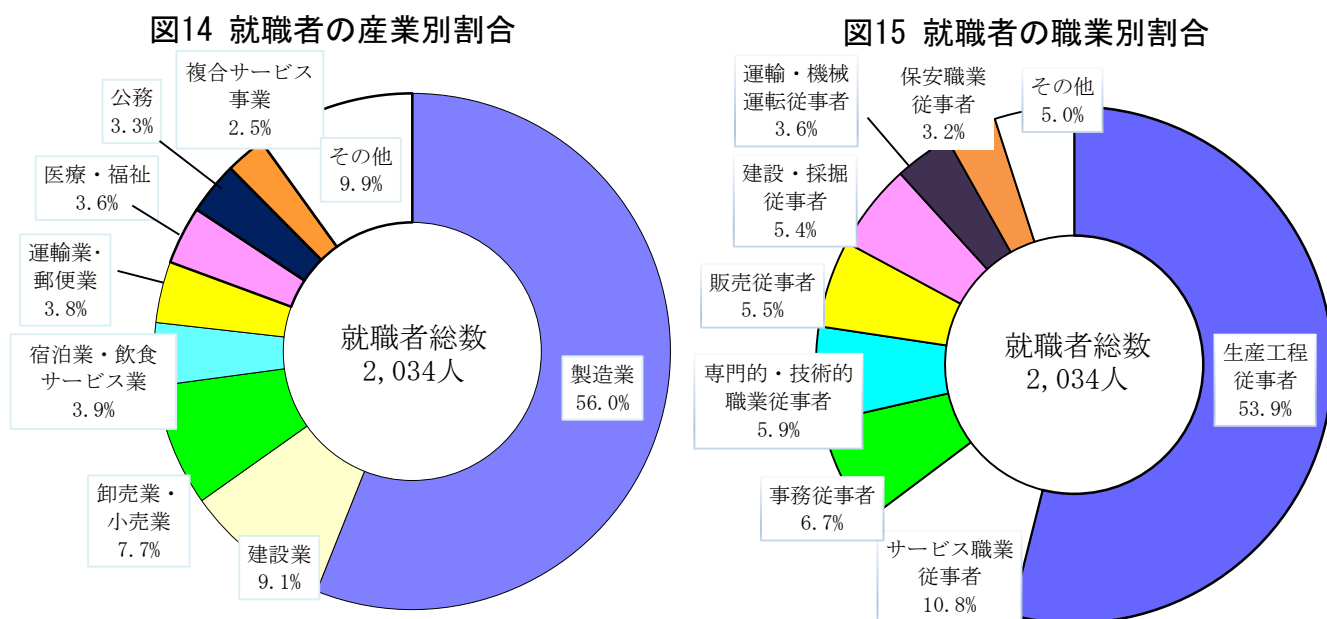
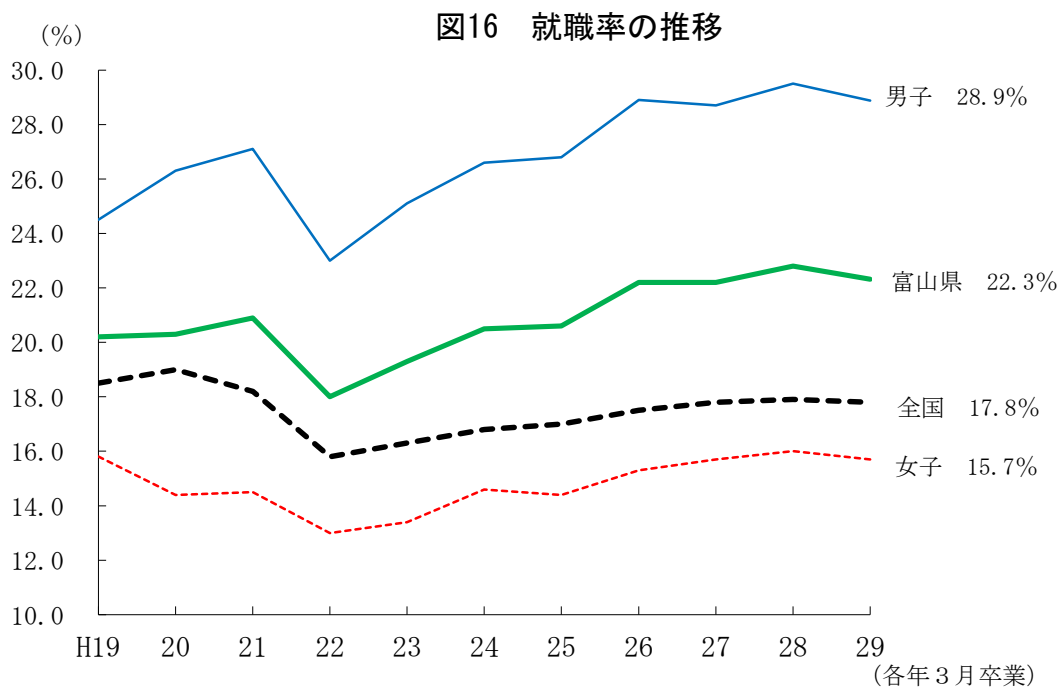


表 28 就職者数及び県内就職率の推移

(単位：人、%)

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2
25	1,969	1,857	94.3
26	2,019	1,859	92.1
27	2,081	1,960	94.2
28	2,092	1,989	95.1
<b>29</b>	<b>2,034</b>	<b>1,868</b>	<b>91.8</b>

注) 県内就職率の最高は、平成28年の95.1%であった。



# 10 特別支援学校（卒業後の状況）

## 【中学部】

表 29 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成24	123	120	—	—	—	3	—	—	2	97.6	—
25	114	114	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
26	104	103	—	—	—	1	—	—	—	99.0	—
27	114	109	—	—	—	5	—	—	5	95.6	—
28	120	114	—	—	—	6	—	—	6	95.0	—
<b>29</b>	<b>109</b>	<b>105</b>	—	—	—	<b>4</b>	—	—	<b>4</b>	<b>96.3</b>	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

### (1) 卒業生数

平成 29 年 3 月の特別支援学校中学部卒業生数は 109 人で、前年度より 11 人 (9.2%) 減少している。

### (2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 105 人で、前年度より 9 人 (7.9%) 減少している。

### (3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 96.3% で、前年度より 1.3 ポイント上昇している。

### (4) 就職状況

就職者数は 0 人で、前年度と同数である。

(表 29、統計表 123)

## 【高等部】

表 30 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成24	145	3	—	3	35	104	—	—	96	2.1	24.1
25	153	4	1	1	42	105	—	—	86	2.6	27.5
26	147	2	2	—	55	88	—	—	74	1.4	37.4
27	165	4	1	—	45	115	—	—	111	2.4	27.3
28	185	2	—	2	57	124	—	—	120	1.1	30.8
<b>29</b>	<b>183</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>66</b>	<b>106</b>	—	—	<b>102</b>	<b>3.8</b>	<b>36.1</b>

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

### (1) 卒業生数

平成 29 年 3 月の特別支援学校高等部卒業生数は 183 人で、前年度より 2 人 (1.1%) 減少している。

### (2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 7 人で、前年度より 5 人 (250.0%) 増加している。

### (3) 大学等進学率

大学等進学率は 3.8% となり、前年度より 2.7 ポイント上昇している。

### (4) 就職状況

就職者数は 66 人で、前年度より 9 人 (15.8%) 増加している。

(表 30、統計表 133)